

第1回天竜川流砂系総合土砂管理計画検討委員会【下流部会】
議事要旨

日時 平成28年3月9日(水) 15:30～17:30
場所 TKP 浜松アクトタワー
カンファレンスセンター「ホールA」

【議事】

1. 委員会規約(案)
2. 天竜川流砂系総合土砂管理計画の策定に向けた枠組み及び進め方
3. 同計画の検討プロセスと目次(案)
4. 同計画の既往検討を踏まえた整理と目指すべき姿(案)
5. 置土実験について(報告)

【議事要旨】

1. 委員会規約(案)

- 事務局説明 ■ 事務局より規約(案)について説明
- 主な意見等 ● 第二条について、頂いた意見に基づき修正することで了承して頂いた。
● 「上流部会との分けを明確にするため、第二条に、「天竜川下流域」という言葉を追記するとともに、「海岸」も追記したほうがよい」旨の意見。

2. 天竜川流砂系総合土砂管理計画の策定に向けた枠組み及び進め方

- 事務局説明 ■ 事務局より天竜川流砂系総合土砂管理計画の策定に向けた枠組み及び進め方について説明
- 主な意見等 ● 特になし

3. 同計画の検討プロセスと目次(案)

- 事務局説明 ■ 天竜川流砂系総合土砂管理計画の検討プロセスと目次(案)について説明
- 主な意見等 ● 「目次構成及び目次案にある前提条件など、どのような記載内容にするかは、今後、検討を進めていく中で決めていくべき。また、安倍川や矢作川など他河川の計画も参考にするとよい」旨の意見。

4. 同計画の既往検討を踏まえた整理と目指すべき姿（案）

- 事務局説明** ■ 事務局より天竜川流砂系総合土砂管理計画の既往検討を踏まえた整理と目指すべき姿（案）について説明
- 主な意見等**
- 「土砂動態の特徴を捉える際は、通過土砂量（フラックス）とその場を構成している量と質（ストック）の両面から経年的な変化を踏まえ整理する必要がある」旨の意見。
 - 「目指すべき姿は、ストックと次回以降示されるフロー（土砂収支）も併せて見たうえで決める方がよい」旨の意見。
 - 「現状と課題、目指すべき姿、土砂管理目標などについては、物理環境の視点のみならず、河川環境など他の視点についても課題等を整理する必要がある。天竜川ダム再編事業環境検討委員会（H18.7～H20.3）において様々な環境に対する検討を行ったので、次回の委員会では環境検討委員会での取りまとめを事務局より説明してほしい」旨の意見。
 - 「領域区分の設定にあたっては、河床勾配やセグメントなどから領域区分の設定をもう少し細かく見る必要がある」旨の意見。
 - 「目指すべき姿は、治水のみならず利水・環境から求められる機能を踏まえ検討すべき」旨の意見。
 - 「各領域を粒径集団の存在比率で示しているが、例えば、ダムの堆積土砂については、存在割合が小さくても総量が多い場合があり、インパクトが大きいと考えられる」旨の意見
 - 「河川領域では流下能力の不足もあるため、有効粒径集団Ⅲが下流に流れると流下能力に影響を与えることが考えられる」旨の意見。
 - 「通過土砂量を健全化することが総合土砂管理の目指すべき姿の一つである（連続性確保）」旨の意見。

5. 置土実験について（報告）

- 事務局説明** ■ 議事「5. 置土実験について（報告）」は、時間の関係で次回報告することとなった。

以上